
観光学評論 執筆要項

1. 原稿は、日本語もしくは英語に限る。
2. 原稿には、本文（図表等を含む）のほか、表題紙、邦文要約、欧文要約、キーワード、論文カテゴリーを添付すること。表題紙は編集委員会規定のものを使用する。（WEBサイト <http://jsts.sc/> より取得のこと）
 - (1) 表題紙には、題名、副題、著者名、所属機関名、職名、メールアドレスのみをそれぞれ日本語と英語で記す。
 - (2) 本文の冒頭に題名、副題を記載する。著者名、所属機関名、職名、eメールアドレスは記載しない。
 - (3) 本文には必ずページ番号をうつ。
 - (4) 邦文要約は、論文（原著・展望・特集・萌芽）500字以内とする。
 - (5) 欧文要約は、論文（原著・展望・特集）400語～800語程度、論文（萌芽）250語～400語程度とし、ネイティブ・チェックを必ず受けることとする。
 - (6) キーワードは、日本語・英語各5語以内で邦文要約・欧文要約の後に各々記載する。
3. 原稿の書式については、基本的な原則を以下のとおりとする。
 - (1) 原稿は横書きとし、A4の用紙を使って、40字×40行で印字する。句読点は全角の「。」と全角の「、」を用いる。
 - (2) 章、節、項は、半角で「I」「1」「(1)」「①」のように番号をふる。「はじめに」や「おわりに」等をつける場合にも、番号をふる。
 - (3) 本文中の数字は原則として算用数字（半角）を用い、漢数字は用いないが、どうしても必要な場合には、その限りではない。
 - (4) 「注」と「文献リスト」を別に作成し、本文の最後につける。参考文献を本文、注等で挙げる際は、（著者名、発行年、p.ページ数）という形式にする。「,」の後には半角スペースを入れる。その他は原則としてAPA方式に準拠し、以下のようにする。

【文中及び注内での引用表記例】

- ① 複数の文献を同時に引用するときはセミコロン「;」でつなぐ。「;」の後には半角スペースを入れる。

(前田, 1987; 安村, 1998)

- ② 訳本がある文献

(Appadurai, 1996 門田訳 2004)

- ③ 著者・訳者が連名のとき和文文献では「・」、欧文文献では半角の「&」でつなぐ。

(須藤・遠藤, 2005)

(Duncan & Gregory, 1999)

- ④ 著者・訳者が3人以上5人以下の際は、初回の引用のみ全員を表記し、2回目以降は「第一著者他(欧文の場合は et al.)」とすること。6人以上の際は、初回から「第一著者他(欧文の場合は et al.)」とする。

初回

(Soja, 1989 加藤・西部・水内・長尾・大城訳 2012)

2回目以降

(Soja, 1989 加藤他訳 2012)

6人以上

(MacCannel, 1999 安村他訳 2012)

- ⑤ 重版がある文献から引用するときは初版年と引用する再版年を半角スラッシュ「/」でつなぐ。「/」の後には半角スペースを入れる。

(Latouche, 2004/ 2007)

- ⑥ 新聞記事の場合は『新聞社名』(引用に使用する年月日)を記載する。欧文新聞の引用日付については、下記の通りとする。また、初出時点に文末注を置くこととする。

初回

(『台湾日日新報』1936年6月8日)

(*Bali Post*, 2010, February 8)

2回目以降

(『台日』1936年6月8日)

(*BP*, 2010, February 8)

文末注

『台湾日日新報』を参照文献として表記する際に『台日』とする。

*Bali post*を参照文献として表記する際に、*BP*とする。

- (5) 文献を本文中に引用する際は、原則としてAPA方式に準拠する。
- (6) 本文中の注の番号は、該当箇所の右肩に半角英数字、全角片カッコで1)、2)、3)・・・のように打ち、本文の最後に付けた「注」でも1)、2)、3)・・・のように半角英数字、全角片カッコの番号を用いる。
- (7) 図表は順に番号を打ち、本文中に挿入箇所を指示すること。著作権者の了解を得ることなく、他者の図版を転用してはならない。

4. 本文の末尾に、文献リストを付ける。文献リストの書式については基本的な原則は以下のとおりとする。

- (1) 和文文献と欧文文献を一括し、文献を著書名のアルファベット順に並べる。
- (2) 同じ著者の文献を2点以上あがる場合、2点目以降は著者名の代わりに、4文字分のダッシュ「————」を用いる。
- (3) 和文文献のサブタイトルの前には、2文字分ダッシュ(——)を付ける。ダッシュの前後にスペースは不要。サブタイトル後に2文字分ダッシュは不要。
- (4) 新聞記事を参照文献にする場合、別立てとせずリスト内に、新聞社名(引用に使用した年)『新聞名』

- (引用箇所は本文に記載)の順番で記載すること。
(5) 書誌情報は原則としてAPA方式に準拠し、以下のように並べる。

【日本語文献】 ※中国語文献においては、和書に準じることとする。

① 単著

著者名 (出版年) 『タイトル』 出版社名

橋本和也 (1999) 『観光人類学の戦略——文化の売り方・売られ方』 世界思想社

② 共著

ファーストオーサーの氏名・セカンドオーサー以下の氏名 (出版年) 『タイトル』 出版社名

須藤廣・遠藤英樹 (2005) 『観光社会学』 明石書店

③ 編著書

編者名編 (出版年) 『タイトル』 出版社名

神田孝治編著 (2009) 『観光の空間』 ナカニシヤ出版

④ 編著所収論文

著者名 (出版年) 「論文のタイトル」 編者名編 『本のタイトル』 (pp. 論文の初ページ-終ページ) 出版社名

安村克己 (1996) 「観光の不均衡問題とエスニック・ツーリズム運営の“格率”」 前田 勇編 『現代観光学の展開——観光行動・文化観光・国際観光交流』 (pp. 45-64) 学文社

⑤ 雑誌論文

著者名 (出版年) 「論文のタイトル」 『雑誌名』 巻 (号) : 論文の初ページ-終ページ.

高媛 (2001) 「記憶産業としてのツーリズム——戦後における日本人の『満洲』観光」 『現代思想』 29(4): 219-229.

⑥ 政府刊行物など

編集機関名 (出版年) 『タイトル』 発行元

国土交通省観光庁 (2011) 『観光白書 (平成23年版)』 日経印刷

【翻訳書】

著者のファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (出版年). タイトル, 出版地: 出版社 [訳者名訳 (翻訳の出版年) 『訳書のタイトル』 出版社名]

Baudrillard, J. (1981). *Simulacra and simulation*, Ann Arbor: University of Michigan Press. [竹原あき子訳 (1981) 『シミュラクルとシミュレーション』 法政大学出版局]

【欧文の文献】

① 単著

著者のファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (出版年). タイトル. 出版地: 出版社.

Illich, I. (1973). *Tools for conviviality*. New York: Harper Colophon.

② 共著

ファーストオーサーのファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル, & セカンドオーサーのファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル (出版年). タイトル. 出版地: 出版社.

Urry, J., & Larsen, J. (2011). *The tourist gaze (3rd ed.)*. London: Sage Publication.

③ 編著書

編者名のファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (Ed.). (出版年). タイトル. 出版地: 出版社.

Selwyn, T. (Ed.). (1996). *The tourist image: Myths and myth making in tourism*. Chichester: John Wiley& Sons Ltd.

④ 編著所収論文

著者名ファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (出版年). 論文のタイトル. In 編者名のファーストネーム及びミドルネームのイニシャル ファミリーネーム (Ed.), タイトル (pp. 論文の初ページ-終ページ). 出版地: 出版社.

Ritzer, G., & Liska, A. (1997). 'McDisneyization' and 'post-tourism': Complementary perspectives on contemporary tourism. In C. Rojek & J. Urry (Eds.), *Touring culture* (pp. 96-109). London: Routledge.

⑤ 雑誌論文

著者名ファミリーネーム, ファーストネーム及びミドルネームのイニシャル. (出版年). 論文のタイトル. 雑誌名. 巻(号): 論文の初ページ-終ページ.

Wang, N. (1999). Rethinking authenticity in tourism experience. *Annals of Tourism Research*, 26(2): 349-370.

【ホームページ等の電子メディア情報】

著者名 (公表年または最新の更新年) 「当該情報のタイトル」 最終閲覧年月日, URL

厚生労働省 (2002) 「サービス供給における契約について」 最終閲覧日2002年5月12日, <http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syakai/sienhi/jimu05.html>

U.K. Department for Culture, Media and Sport. (2011). *Government tourism policy*. London: Author. Retrieved 2012, March 1, from http://www.culture.gov.uk/images/publications/Government2_Tourism_Policy_2011.pdf

【新聞記事】

新聞社名（引用に使用した年）『新聞名』（引用箇所は本文に記載）

台湾日日新報社（1898-1944）『台湾日日新報』（引用箇所は本文に記載）

Bali Post (2000-2012). *Bali Post* (引用箇所は本文に記載)

【オンライン新聞記事】

著者名（発行年）「記事名」『新聞名』最終閲覧日, URL

（初出が不明な場合は、発行年を(n.d.)とする。）

読売新聞（2014）『『パワースポット天橋立』PR、高校生案事業化』『読売新聞』最終閲覧日2014年9月8日, http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/news/20140907-OYT8T50012.html?from=ycont_top_txt

Smale, W. (2011, November 28). Brazil prepares for major tourism boost. *BBC News*. Retrieved 2012, March 1, from <http://www.bbc.co.uk/news/business-15824562>

2014年9月30日改訂
